

五十年目の答え合わせ——。

五十年目の 俺たちの旅



中村雅俊 秋野太作 田中健 岡田奈々

前田亜季 水谷果穂 左時枝 福士誠治

原作・脚本：鎌田敏夫 監督：中村雅俊 主題歌：「俺たちの旅」歌：中村雅俊

エグゼクティブプロデューサー 志賀司 中山良夫 共同プロデューサー 若林真弓 服部達 羽田文彦 プロデューサー 松岡周作
アソシエイトプロデューサー 鎌田敏夫 撮影 上野彰吾 音楽 小林淳平 編集 鈴木真一 美術 前田巴那子 衣裳 宮本茉莉 江頭三絵 ヘアメイク 宮内三千代
録音 部 弘道 監修 渡辺文彦 記録 松澤一美 監督補 西川謙一郎 制作担当 井上純平 協力 ユニオン映画
制作 GENERATION11/suku 配給 NAKACHIKA PICTURES 製作「五十年目の俺たちの旅」製作委員会
BS日テレ セレモニー 日テレ アックスオン イースト・グループ・ホールディングス GENERATION11 平成プロジェクト ビー・ブレイブ
サンライズプロモーション クライス&カンパニー アルファクラブ広島野 J R 東海エージェンシー ハートソリー 登利平 ニッポン放送

昭和の青春を象徴する"あの3人"に、スクリーンで会える——
放送開始50周年を迎える、伝説のドラマシリーズが初映画化！

昭和を代表する青春ドラマの金字塔 「俺たちの旅」が令和の時代に戻ってくる。!!!



1975年10月にスタートした連続ドラマ『俺たちの旅』。カースケ、オメダ、グズ六が繰り広げる熱い青春群像劇は、若者たちを熱狂させ、放送後も10年ごとに3本のスペシャルドラマが作られてきた。そして、放送開始50周年を迎えた今、続編『五十年目の俺たちの旅』が初の映画版として製作され、カースケたち3人の物語が初めて銀幕に登場する。カースケを演じるのは中村雅俊。今回も主題歌「俺たちの旅」はじめ、挿入歌も務める。グズ六役に秋野太作、オメダ役に田中健、さらにオメダの妹・真弓役に岡田奈々と50年前のオリジナルキャストが結集した。

これは、彼らが歩んできた「五十年間」の物語――。

企画・脚本はドラマシリーズからメインライターを務める鎌田敏夫。本作のほかにも昭和を代表する数々の大ヒットドラマを生み出してきたベテランが令和の時代に新たな物語を紡ぐ。本作で初のメガホンを取るのは主演の中村雅俊。これまで監督を務めてきた故・斎藤光生の演出を一番身近で見てきた中村監督が『旅』のテイストを銀幕に移し替えている。ドラマシリーズからの映像もふんだんに使い彼らの人生をたつぷりと振り返ることができる。この作品は彼らの「五十年目」の物語であると同時に、彼らが歩んできた「五十年間」の物語。今も続いている彼らの青春の旅をともしする、かけがえのない【人生の一本】となる特別な作品が完成した。



STORY

津村浩介“カースケ”(中村雅俊)と、大学時代の同級生の神崎隆夫“オメダ”(田中健)、カースケの小学校の先輩である熊沢伸六“グズ六”(秋野太作)の3人は70代になり、付き合いはすでに50年を過ぎている。カースケは現在、従業員10人ほどの小さな町工場を経営し、オメダは現在も鳥取県の米子市長を務め、グズ六は妻のおかげで介護施設の理事長の座に収まり、それぞれ平穏な日々を過ごしていた。そんなある日、カースケの工場にオメダがやってくる。カースケは、米子市長を務めるオメダを誇らしい気持ちで従業員に紹介するが、オメダは思いつめた様子ですぐにその場を後にしてしまう。また別の日、カースケの工場で制作中だったボットが大量に割られる事件が起きる。その中に懐かしい砂時計を発見したカースケ。その砂時計はかつての恋人・洋子と行った思い出の地、鳥取砂丘で買ったものだった。20年前に病死した洋子を懐かしむカースケだが、グズ六から「洋子が生きてる!」と驚きの情報を耳にし…。

出演：中村雅俊 秋野太作 田中健 / 前田亜季 水谷果穂 左時枝 福士誠治 / 岡田奈々

原作・脚本：鎌田敏夫 監督：中村雅俊 主題歌：「俺たちの旅」歌：中村雅俊 配給：NAKACHIKA PICTURES ©「五十年目の俺たちの旅」製作委員会 oretabi50th-movie



2026年1月9日(金) 全国公開